

## 中世学研究会第1回シンポジウム

### 幻想の京都モデル

日 程： 2017年7月1日（土）13:00～2日（日）16:00

会 場： 慶應義塾大学日吉キャンパス（東急東横線日吉駅下車すぐ）独立館 D201 教室

主 催： 中世学研究会

開催趣旨：本シンポジウムでは、中世を通じて全国へと広まった様々な京都モデルの実体を探り、その受容のあり方を検討するとともに、この時代における中央の規範性の限界（や場合によっては存否）についても考えていきます。

内 容：(1日)

12:30 受付開始

13:00～13:10 趣旨説明 中島圭一（慶應義塾大学）

13:10～14:00 基調報告1 「関東」の成立と「京都」の相対化—中世社会の基調としての多核化— 桃崎有一郎（高千穂大学）

14:00～14:30 関連報告1 中世球磨郡の仏像制作と京都  
有木芳隆（熊本県立美術館）

14:30～14:40 休憩

14:40～15:30 基調報告2 モデルの需要と受容—土器からみた「京都モデル」の位置— 伊藤裕偉（三重県教育委員会）

15:30～16:00 関連報告2 石造物からみた東国と畿内  
本間岳人（池上本門寺霊宝殿）

16:00～16:10 休憩

16:10～17:00 基調報告3 「戦国時代の文化伝播」の実態—地方は中央に何を求めたか？ 小川剛生（慶應義塾大学）

17:30～ 懇親会

(2日)

9:30 開場

10:00～10:30 関連報告3 庭園遺構にみる戦国期城館  
佐々木健策（小田原城総合管理事務所）

10:30～11:00 関連報告4 中世における諸階層の官途受容  
木下聡（東京大学）

11:00～11:50 基調報告4 ミヤコをうつ（写・映・摸・撮・移）す  
福間裕爾（福岡市博物館）

11:50～13:00 昼食休憩

13:00～16:00 討論 司会：村木二郎（国立歴史民俗博物館）・中島圭一

シンポジウム参加費：一般 2000 円／学生 1000 円（資料代・会場整理費として）

懇親会費：5000 円

申込方法：氏名・所属・連絡先・懇親会出欠を明記のうえ、メールまたはハガキにて下記までお申し込みください。

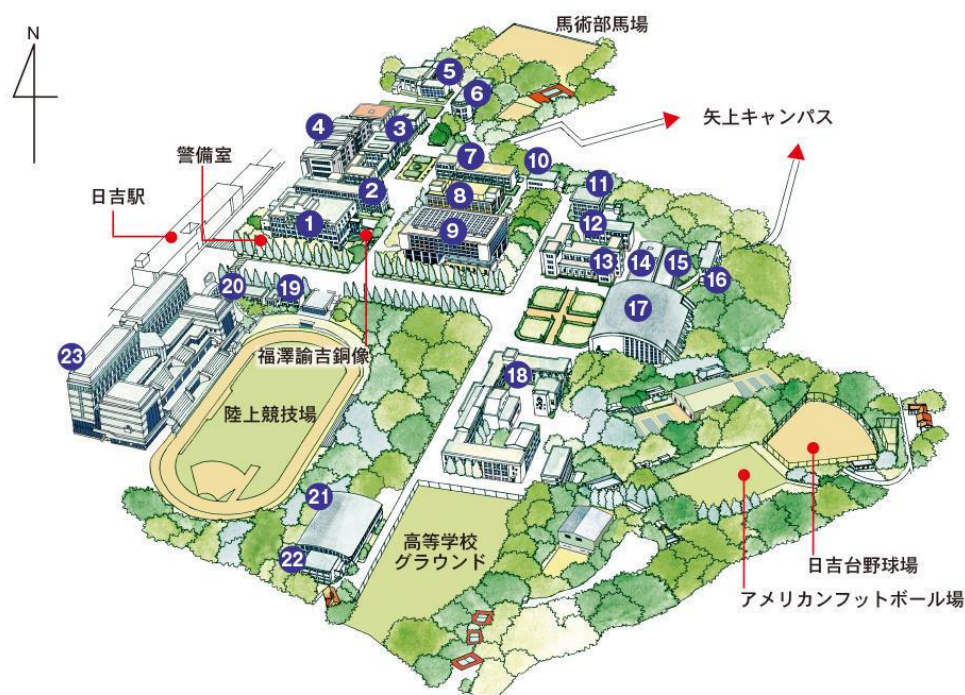
申込先：[chuseigakukenkyukai@yahoo.co.jp](mailto:chuseigakukenkyukai@yahoo.co.jp)

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町 117 国立歴史民俗博物館 村木二郎

申込締切：2017 年 6 月 20 日（木）

注意事項：準備の都合上、事前の申込みをお願いします。特に懇親会は会場の収容人数に制約があり、先着順で締め切りますので、できるだけ早くお申し込みください。また、宿泊先の紹介などは致しませんので、ご自分で手配してください。

下図の④が独立館。日吉駅東口を出て横断歩道を渡り、キャンパスに入っすぐ左へ歩いた突きあたりが独立館の地下 2 階となります。



### ※中世学研究会とは

長年にわたり、山梨県笛吹市石和町の帝京大学文化財研究所（旧・財団法人山梨文化財研究所）を主会場として開催されてきた「考古学と中世史研究会」（通称・石和シンポ）の精神を継承して、新たにスタートする研究会です。文献史学（日本史だけでなく、西洋史・東洋史も）、考古学、民俗学、地理学、建築史学、美術史学、文化人類学、文学、分析化学、生態学等々、あらゆる分野の研究者が協力して（主に日本の）中世という時代の全体像にアプローチする科学としての「中世学」を構想し、その学問的方法の確立に向けた実践の場として年 1 回のシンポジウム開催を予定しています。